

釧路管内

釧路市

市制施行 大正11年8月1日
市花 キンシロカスラン、エリノドウ
市木 ハシドイ、エノヤザガラ、ナナカド
市名の由来 アイヌ語「ツツチャロ」(町様)からの転訛

根室市

市制施行 昭和32年8月1日
市花 ユキワリコザクラ
市木 チシマザクラ
市鳥 ハクチョウ
市名の由来 アイヌ語「ネムオロ」(樹木の繁茂する所)より転訛

標津町

町制施行 昭和33年1月1日
町花 ハマナス
町木 ナナカド
町鳥 ナナカド
町名の由来 アイヌ語「シ・ベツ」(大きな川)より転訛

根室管内

市制施行 昭和32年8月1日
市花 ユキワリコザクラ
市木 チシマザクラ
市鳥 ハクチョウ
市名の由来 アイヌ語「ネムオロ」(樹木の繁茂する所)より転訛

別海町

町制施行 昭和46年4月1日
町花 センダイハギ
町木 ナラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「ベツ・カイエ」(流れ川又は折れ川)より転訛

羅臼町

町制施行 昭和36年8月1日
町花 シバザクラ
町木 ナナカド
町鳥 オジロシ
町名の由来 アイヌ語「ラウシ」(低い所)より転訛

中標津町

町制施行 昭和25年1月1日
町花 エノリンドウ
町木 シラカバ
町名の由来 標津川の中流域に集落が形成されたことに由来

厚岸町

町制施行 明治33年7月1日
町花 ヒオウギアヤメ
町木 エノヤマザクラ
町鳥 オオセグロカモメ
町名の由来 アイヌ語「アツケシ」(カキのある所)からの転訛

弟子屈町

町制施行 明治22年7月1日
町花 ツツジ
町木 サクラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「チシュカガ」(岩盤の上)より転訛

白糠町

町制施行 昭和25年11月1日
町花 キンセンカ
町木 ナナカド
町鳥 ナナカド
町名の由来 アイヌ語「シラリカ」(湖のある所)より転訛

標茶町

町制施行 昭和25年11月1日
町花 コスモス
町木 ナラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「シベチャ」(大川の丘陵)より転訛

釧路町

町制施行 昭和55年4月1日
町花 クロハナシロ
町木 エノコリンゴ
町鳥 エゾフクロウ
町名の由来 大正9年に旧釧路町(現釧路市)より分村の際に母村の名を取った

根室管内

市制施行 昭和32年8月1日
市花 ユキワリコザクラ
市木 チシマザクラ
市鳥 ハクチョウ
市名の由来 アイヌ語「ネムオロ」(樹木の繁茂する所)より転訛

別海町

町制施行 昭和46年4月1日
町花 センダイハギ
町木 ナラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「ベツ・カイエ」(流れ川又は折れ川)より転訛

羅臼町

町制施行 昭和36年8月1日
町花 シバザクラ
町木 ナナカド
町鳥 オジロシ
町名の由来 アイヌ語「ラウシ」(低い所)より転訛

中標津町

町制施行 昭和25年1月1日
町花 エノリンドウ
町木 シラカバ
町名の由来 標津川の中流域に集落が形成されたことに由来

厚岸町

町制施行 明治33年7月1日
町花 ヒオウギアヤメ
町木 エノヤマザクラ
町鳥 オオセグロカモメ
町名の由来 アイヌ語「アツケシ」(カキのある所)からの転訛

弟子屈町

町制施行 明治22年7月1日
町花 ツツジ
町木 サクラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「チシュカガ」(岩盤の上)より転訛

白糠町

町制施行 昭和25年11月1日
町花 キンセンカ
町木 ナナカド
町鳥 ナナカド
町名の由来 アイヌ語「シラリカ」(湖のある所)より転訛

標茶町

町制施行 昭和25年11月1日
町花 コスモス
町木 ナラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「シベチャ」(大川の丘陵)より転訛

釧路町

町制施行 昭和55年4月1日
町花 クロハナシロ
町木 エノコリンゴ
町鳥 エゾフクロウ
町名の由来 大正9年に旧釧路町(現釧路市)より分村の際に母村の名を取った

根室管内

根室市

市制施行 昭和32年8月1日
市花 ユキワリコザクラ
市木 チシマザクラ
市鳥 ハクチョウ
市名の由来 アイヌ語「ネムオロ」(樹木の繁茂する所)より転訛

標津町

町制施行 昭和33年1月1日
町花 ハマナス
町木 ナナカド
町鳥 ナナカド
町名の由来 アイヌ語「シ・ベツ」(大きな川)より転訛

根室管内

市制施行 昭和32年8月1日
市花 ユキワリコザクラ
市木 チシマザクラ
市鳥 ハクチョウ
市名の由来 アイヌ語「ネムオロ」(樹木の繁茂する所)より転訛

別海町

町制施行 昭和46年4月1日
町花 センダイハギ
町木 ナラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「ベツ・カイエ」(流れ川又は折れ川)より転訛

羅臼町

町制施行 昭和36年8月1日
町花 シバザクラ
町木 ナナカド
町鳥 オジロシ
町名の由来 アイヌ語「ラウシ」(低い所)より転訛

中標津町

町制施行 昭和25年1月1日
町花 エノリンドウ
町木 シラカバ
町名の由来 標津川の中流域に集落が形成されたことに由来

厚岸町

町制施行 明治33年7月1日
町花 ヒオウギアヤメ
町木 エノヤマザクラ
町鳥 オオセグロカモメ
町名の由来 アイヌ語「アツケシ」(カキのある所)からの転訛

弟子屈町

町制施行 明治22年7月1日
町花 ツツジ
町木 サクラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「チシュカガ」(岩盤の上)より転訛

白糠町

町制施行 昭和25年11月1日
町花 キンセンカ
町木 ナナカド
町鳥 ナナカド
町名の由来 アイヌ語「シラリカ」(湖のある所)より転訛

標茶町

町制施行 昭和25年11月1日
町花 コスモス
町木 ナラ
町鳥 ハクチョウ
町名の由来 アイヌ語「シベチャ」(大川の丘陵)より転訛

釧路町

町制施行 昭和55年4月1日
町花 クロハナシロ
町木 エノコリンゴ
町鳥 エゾフクロウ
町名の由来 大正9年に旧釧路町(現釧路市)より分村の際に母村の名を取った

釧路開発建設部 管内農業事業位置図

位置図



オホーツク海

太平洋



0 50 100m

事業実施地区の整備状況



別海北部地区 肥培施設(配水調整池)



阿寒地区 農用地整備(区画整理)



根室地区 用水路



川湯跡佐北地区(現況排水路)

凡	例
	国営環境保全型かんがい排水事業
	国営緊急農地再編整備事業
	国営総合農地防災事業
	地域整備方向検討調査
	高規格幹線道路
	地域高規格道路
	一般国道
	主要道道
	開発建設部(本部)
	開発建設部(事務所)
	市町村役場
	T M R センター

釧路開発建設部